

2月21日 中嶋洋一先生講演会報告

「英語教育改革の今、英語教師としての基礎・基本を見直そう！」



南筑後外国語（英語）科教育サークル
会長 柳川市立三橋中学校 校長 境 宏文

日時：2015年2月21日（土）

○午前の部 10:00～12:30 英語科教育・英語科教師としての心構え、授業づくりの考え方

○午後の部 13:30～16:30 授業づくり、指導の基礎・基本（演習）

場所：柳川市立大和公民館

講師：中嶋洋一先生（関西外国語大学教授）



久しぶりに中嶋洋一先生を迎えての講演会。県外からの参加者を含め、54名の先生方が感動の時間を共有することができました。授業づくりの根底にある教師のあるべき姿、教師としての使命感と責任感を痛切に感じさせられた講演でした。また、授業（生徒活動）の紹介や演習は、明日の授業づくりに生かすことができるものでした。自律した学習者を育てることができるよう、Goal Peopleを目指していきましょう！！



中嶋洋一先生の講演会（講話内容）

- 1) 教えるとは
(トマトときゅうりの性質から・・・)
- 2) 学ぶとは(study と learn の違いから)
自律した学習者を育てる
(指示を明確に)(生徒に考える機会を)
- 3) ゴールを見据えた学習
(スピーチコンテスト)(river people と goal people の違い)
(積み木の授業ではなく、ジグソーパズルの授業を!)・・・目的を持った指導
- 4) 音読練習(間の取り方、迫真の演技 → 読めるようにする・内容理解のコツ)
- 5) こんな教師を目指そう！

When farmers grow tomatoes, they seldom water them. Then tomatoes try to get water from the air and that's why they become sweet.
If farmers water them too often, they become watery.
Cucumbers grow very fast and they are almost water. So farmers make it a rule to give much water to cucumbers.
If they forget to water them, cucumbers will soon wither.

中嶋先生のお話を聞いて、身が引き締まる思いがしました。自分の授業や教師としての姿勢を振り返り、自分が River People であったことがわかりました。Goal People になれるよう、自分の授業を見直し、生徒の自律性を高めていきたいと思えます。

また、中嶋先生の「私の教師としての原点は教育実習の時にある。」とおっしゃられたことにハッとしました。日々の仕事の中で、その時に感じた喜びや楽しさを忘れかけていたようです。しっかりと原点に戻り、自分の力を高めていきたいと思えます。

このような勉強会、サークルがあることをとてもうれしく思います。機会を見つけて、また参加させていただきたいです。他の先生方といろいろ情報交換やお話ができ、とても充実した時間が過ごせました。

中嶋先生のお話を聞くのは3回目です。毎回、感動したり、自分のダメさを痛感したり・・・勉強になります。

英語を教える者としての指導力、英語力はもちろん、人として魅力ある人物になりたいと強く思いました。

人と人をつなぐことが教育であり、言語教育であると改めて考え直すことができました。



～ 参加者の感想より ～

午前中のワークショップでは、先生の授業づくりに、唯々納得し、まねしたいという内容でした。自分の授業を振り返り、反省することがたくさんあり、すぐに授業づくりを見直そうと決意しました。

午後は、英語の授業を超えた授業を教えていただき、自分の心も洗われるようでした。単なる語学で終わらせてはいけない、人間づくりという最も重要なことを考えさせられました。

初めて中嶋先生の講演会に参加させていただきました。とても楽しみにしていました。内容だけでなく、お話の進め方もとても素晴らしく、とてもよい経験をさせていただきました。是非、我が校でも講演をしていただき、感動を広げたいと思いました。

今回、今までの自分を振り返り、これからの自分の在り方を見つめ直すことができました。「人を造る」いえ、生徒からも学ばせてもらいながら自分自身も楽しく授業を考えていきたいと思えます。ゴールを目指して、先を見通した授業を作りたいです。

いつも忙しさを理由に、準備をさぼり、英語教師がどうあるべきか考えようとしていませんでした。まずは、英語を使って、どんな子どもに育てたいのか、スキルだけでなく、心を共に動かせるような教師になりたいと思いました。そして、そのゴールに到達するために、どんな授業を仕組みばいいのか、今は、それを考えることが楽しみになりました。

中嶋先生が、最後に「今日はテクニックを教えに来たのではありません。」とおっしゃられたことが印象的でした。

たくさんの方を学ばせていただきましたが、英語を通して、「生命とは?」「生きるとは?」が織り込まれた授業ができればと思っています。

【演習にて】



Am I a singer?
Who am I?

子：知りたい！わがりたい！
みんなと話せるようになりたい！
師：教えてあげたい！
助けてあげたい！

- 1、 Simple rule (Easy to do)
- 2、 Wide ranged questions (Each student's level)
- 3、 Problem solving, creative (Not mechanical)
- 4、 Interesting (Think to reach the goal)
- 5、 Cooperative learning (Share each learning)

今回で、5回目の受講（中嶋先生の講演会）になります。毎回、学ばせていただくことがあり、しっかり力をつけていきたいと思えます。DVDも学校の道徳で使わせていただき、生徒共々、世界への視野を広げることができています。

Goal を見据えて、逆算して授業を組み立てていくことを基本にしていきたいと思えます。

ドキドキしました。英語教師としての使命感を強く感じました。やっぱり、頑張ろう！と強く思いました。この仕事とめぐりあった以上、熱い自分です。「人」を育てながら、自分自身も成長しなきゃ！と思っています。

前回よりも更に進化した内容で、とても参考になりました。たくさんの気づきがありました。感動を与える授業こそが理想です。理想の授業を紹介していただき、感謝しています。50代の自分でも、教育の原点に戻れました。

毎回、他地区から参加させていただいてありがとうございます。

授業をすること、この仕事を続けていく上で一番大切なことを、いつもこの研修会で教えられています。

常に3年卒業時に向けての明確なゴールをもつこと、そこを起点に3年間、1年間、1学期、1時間のゴールやプラン、方法を考えること具体化していきたいです。

今日の先生のお話の中で一番印象に残った言葉は「私は子どもがハッピーだったらそれでいい。先生方の役に立てればそれでいい。」です。遠く、お忙しい中、私たちのためにこんなに力を尽くしてお話してくださる先生を見習って、私も、時間や労力を惜しまず、生徒のためにつくせる一人の大人でありたいと心から思いました。

Learn と Study の違いは？

*I have **studied** Greek for three years,
but I didn't **learn** anything.*

Study... time or effort

It's uncertain wheather students learned it or not.

Learn... can explain in one's own words can do without my help

0-jochu! 0-jochu!
Listen to me, just for one
little moment !

【音読 (MUJINA)】



【音読 (英語で落語)】



Please, a five-yen or
fifty-yen discount ?